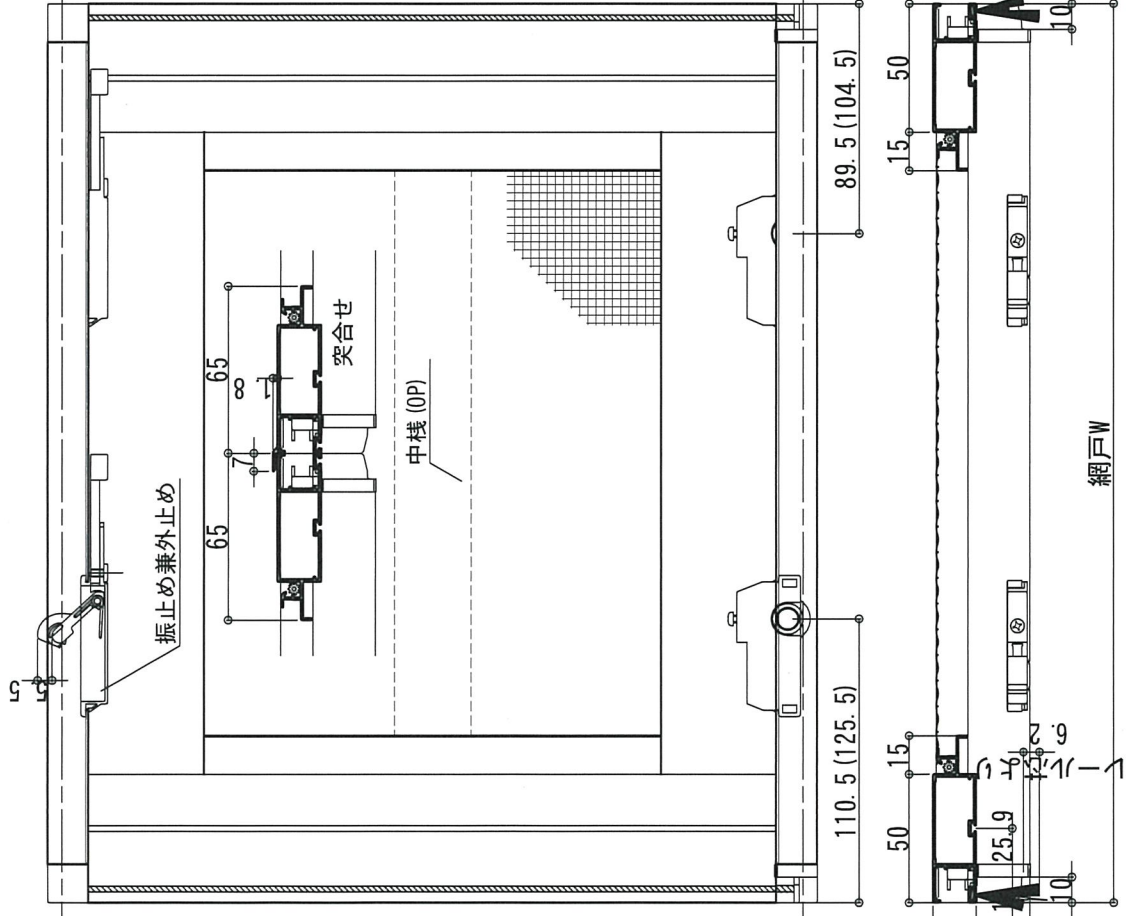
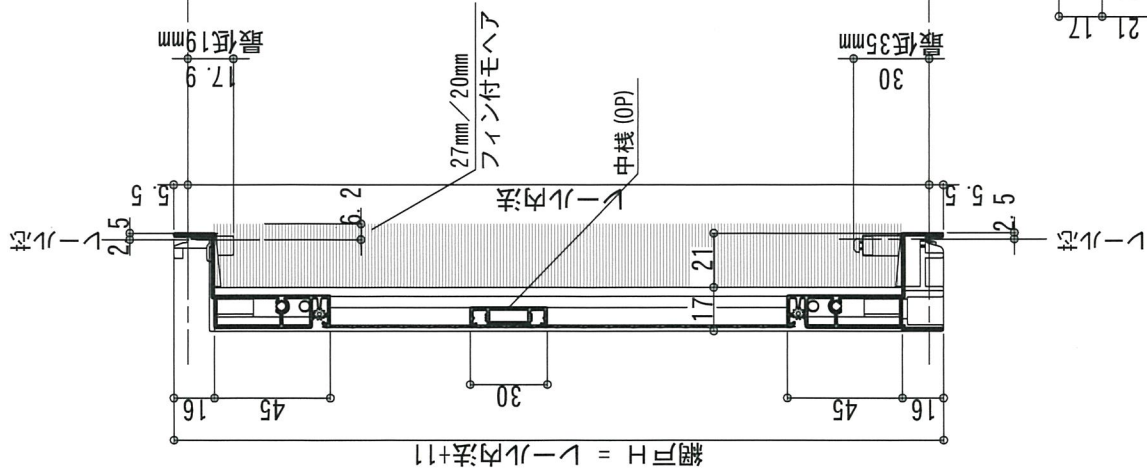
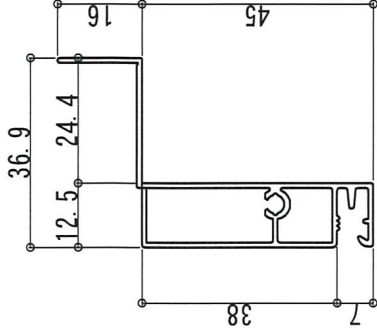


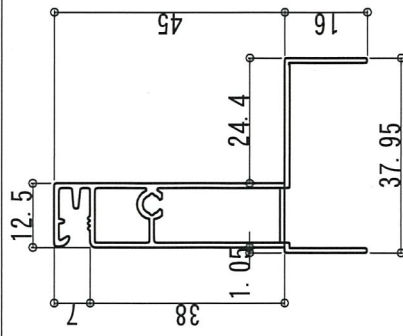
SS1型網戸



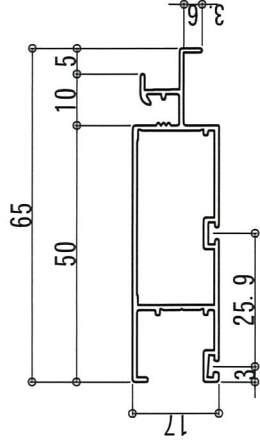
S型上棧



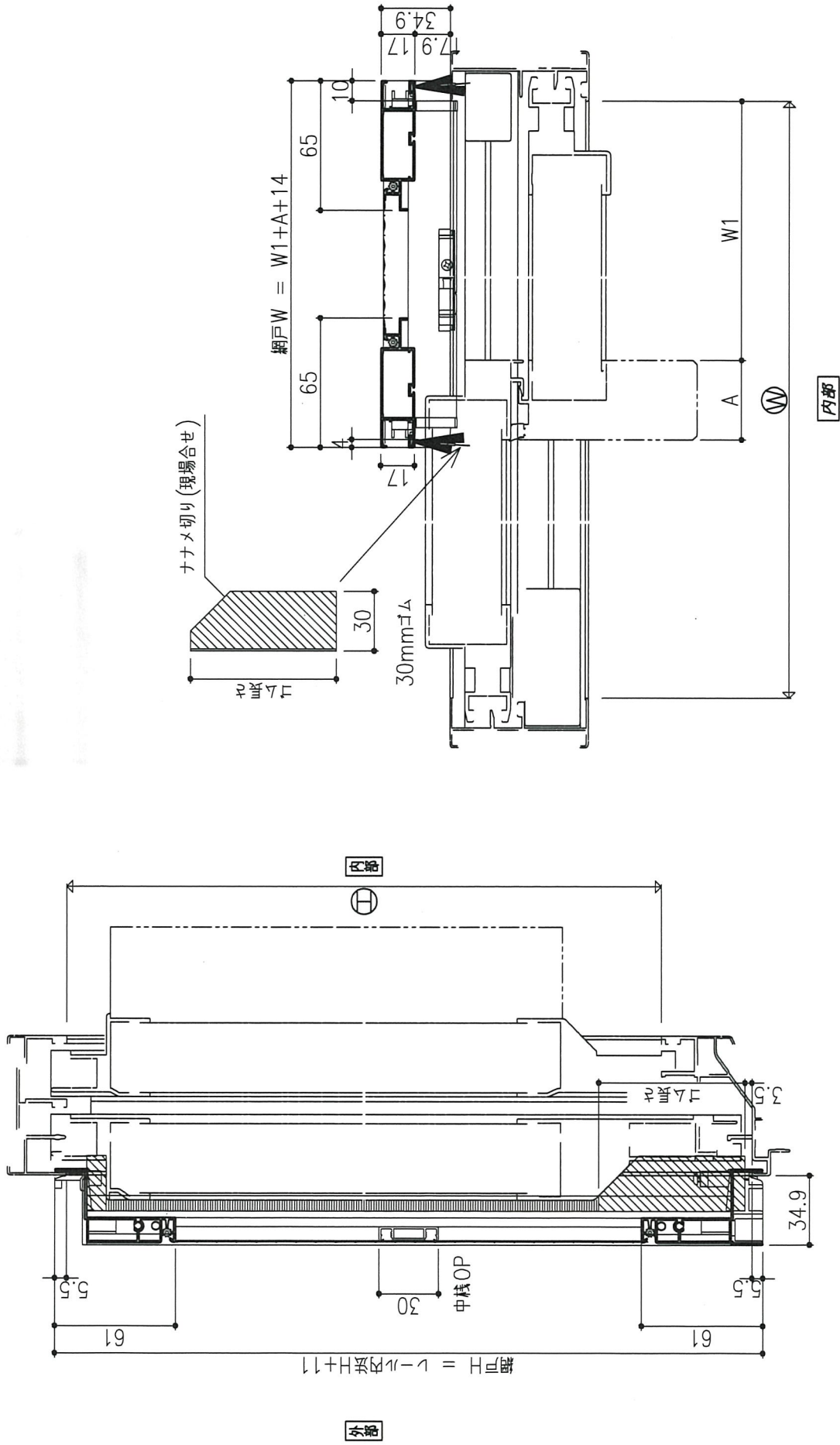
S型下棧



ビル用縦框 1

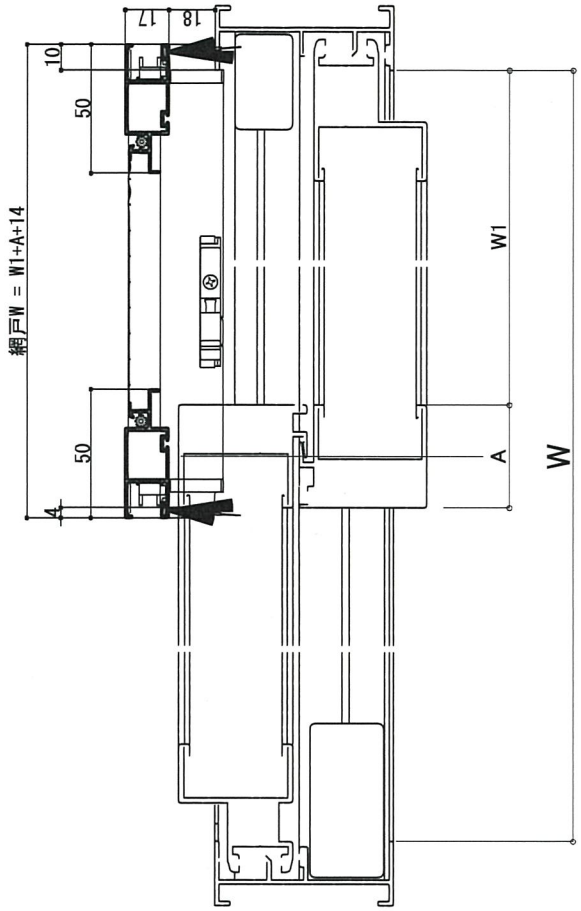
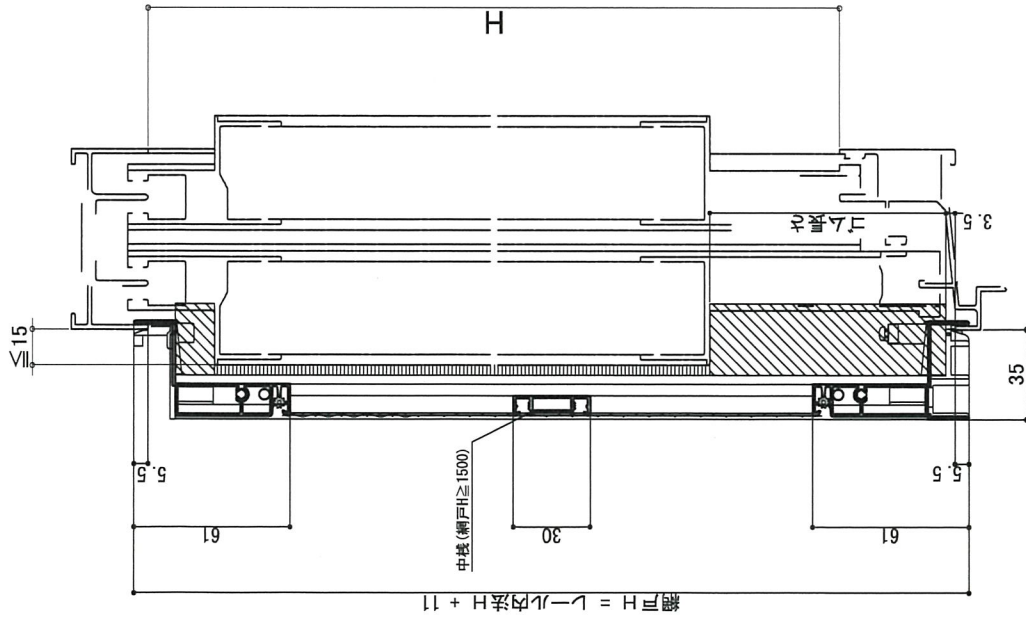


SS1型網戸
参考図

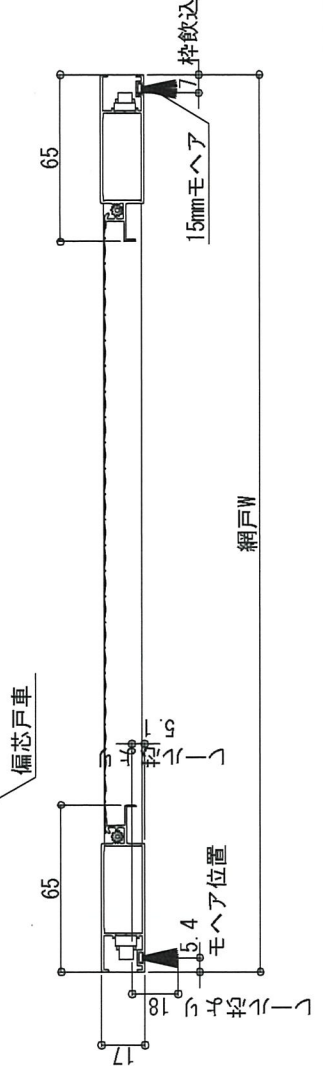
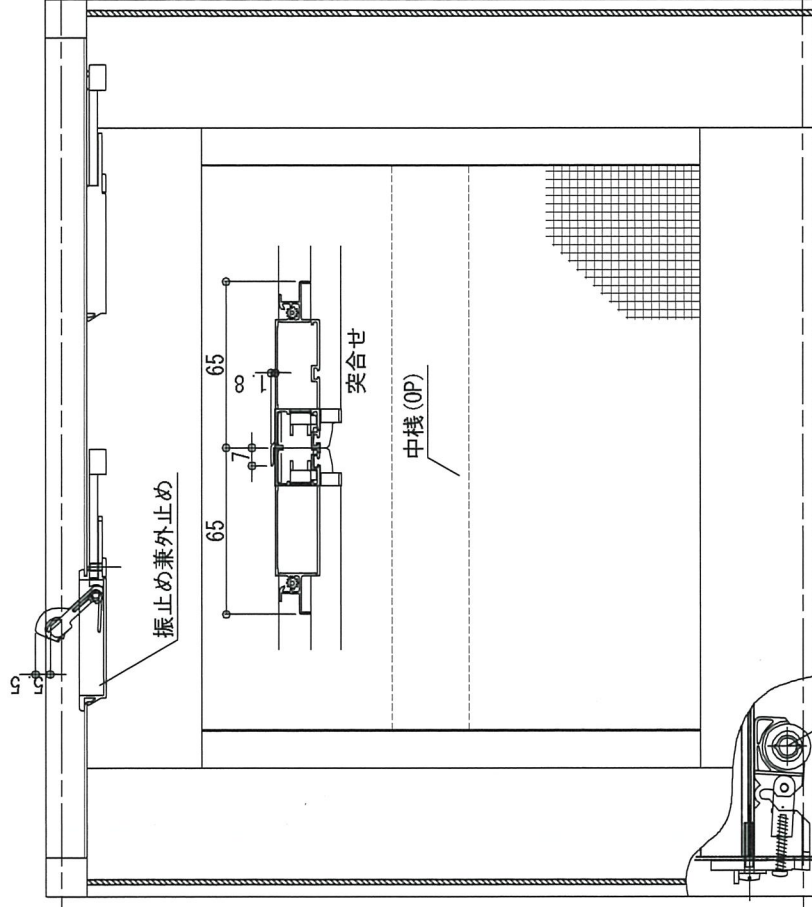
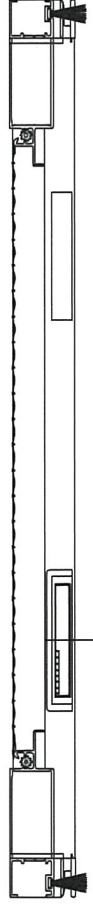
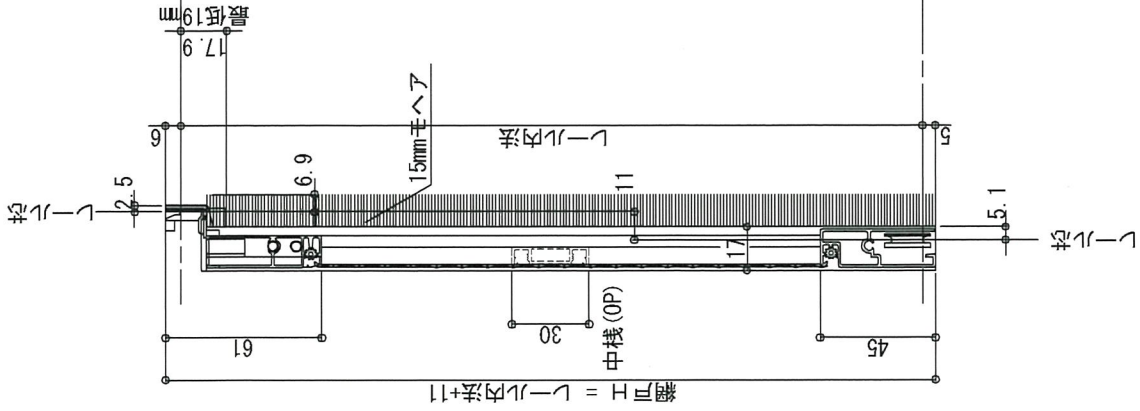


SS2型網戸

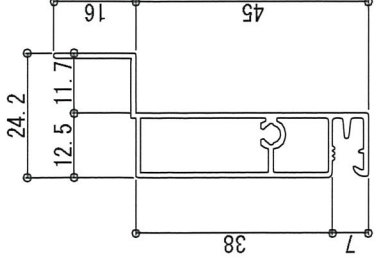
参考図



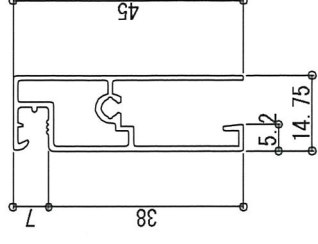
PL3型網戸



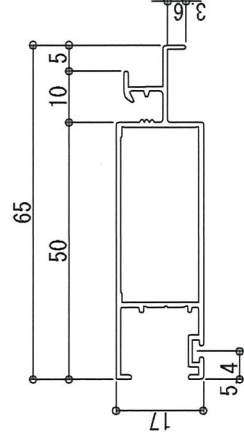
P型上棧II



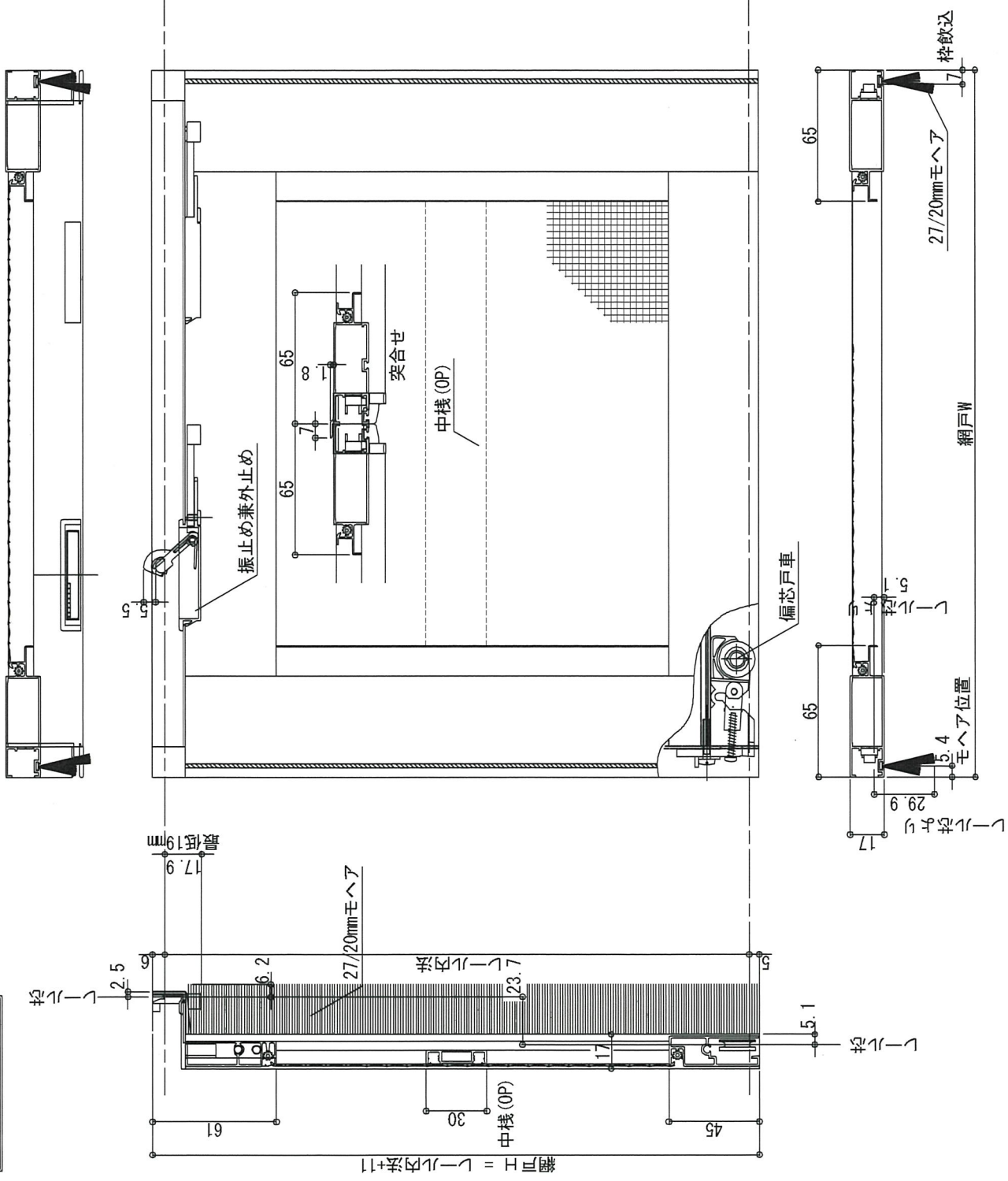
L型上下棧



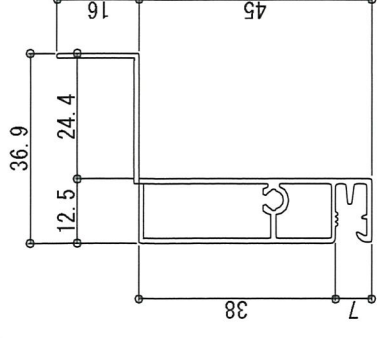
ビル用縦框3



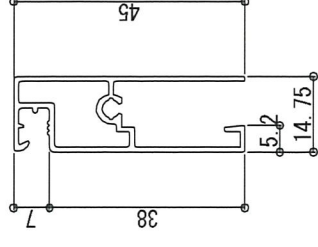
SL3型網戸



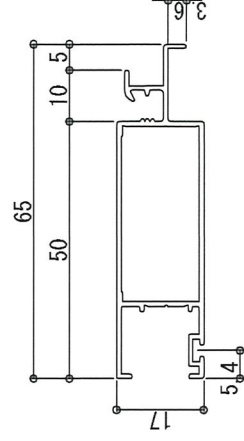
S型上棧



L型上下棧



ビル用縦框3

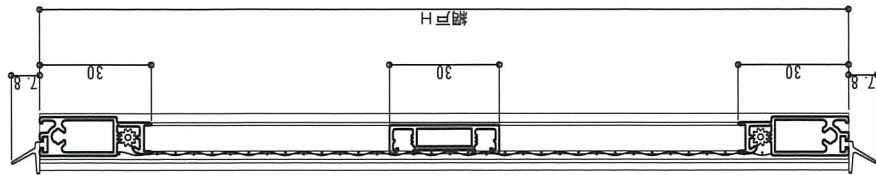


K1型ビス固定網戸

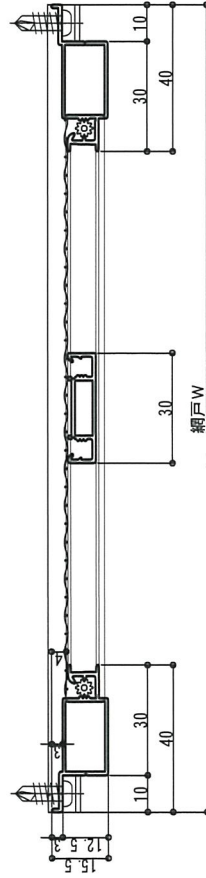
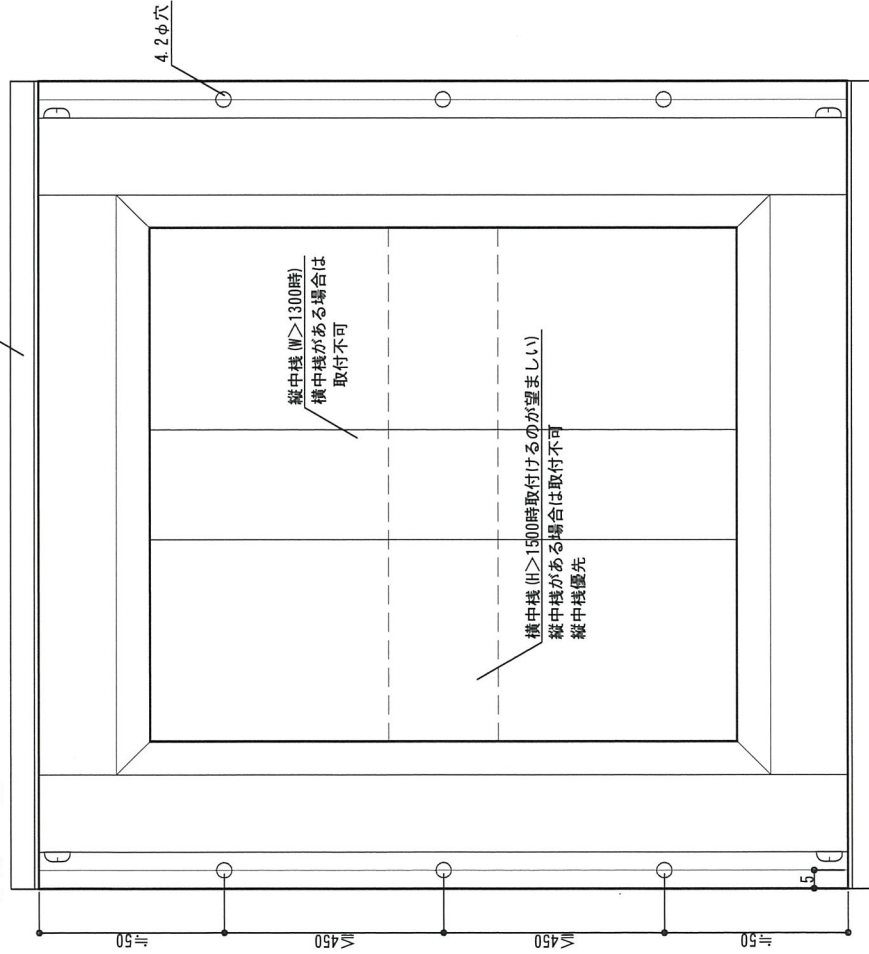
縦横 ビス固定仕様

型材切断寸法

- 上下棧 : 網戸W-22
- たて框 : 網戸H
- よこ骨 : 網戸W-76
- たて骨 : 網戸H-56



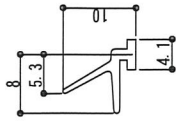
固定網戸ゴム



基本構造
 縦横ネジ固定式
 (入り隅固定)
 網戸W=取付開口W-2程度
 網戸H=取付開口H-6程度
 (正面付け)
 網戸W=取付開口W+20程度
 網戸H=取付開口H+10程度
 ※納まり次第、寸法の規定はない。

固定網戸ゴム

ブラック

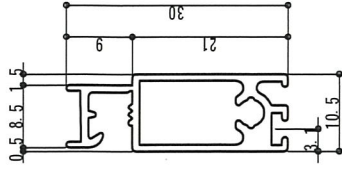


M4x13ナベドリルネジ

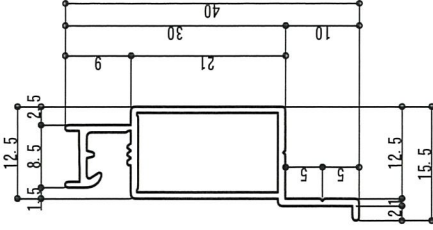
シルバー



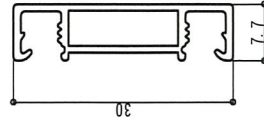
上下棧 (内倒し下棧)



縦框 (固定縦框)



中棧



東海アルミ工業 (株)

受領 検図 製図

日付 2008/10/10 工事名

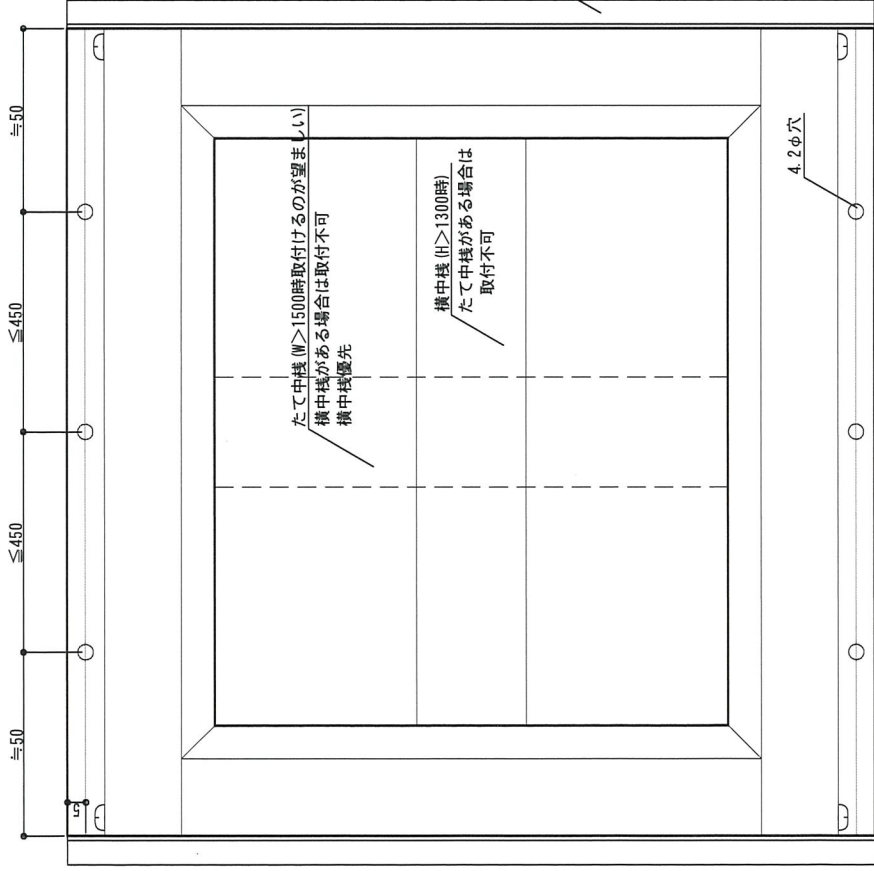
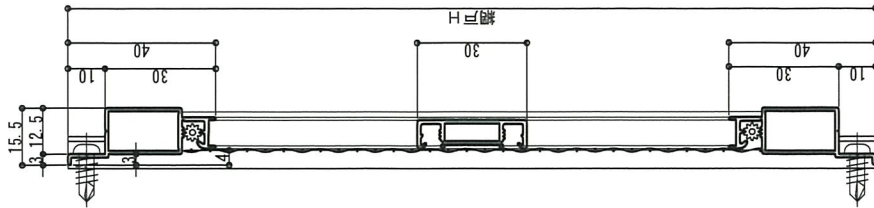
縮尺 1/1 図面名 ビス固定網戸 (縦横ビス固定仕様) 姿図

図番

K 2 型ビス固定網戸

上下棧 ビス固定仕様

型材切断寸法
 上下棧 : 網戸W
 たて枠 : 網戸H - 22
 よこ骨 : 網戸W - 56
 たて骨 : 網戸H - 76

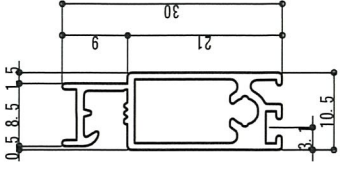


固定網戸ゴム

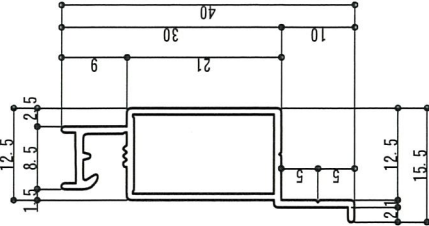
基本構造
 堅紐ネジ固定式
 (入り隅固定)
 網戸W = 取付開口W - 6 程度
 網戸H = 取付開口H - 2 程度
 (正面付け)
 網戸W = 取付開口W + 10 程度
 網戸H = 取付開口H + 20 程度

※納まり次第、寸法の規定はない。

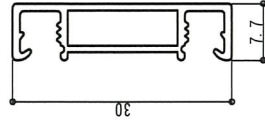
堅紐 (内倒し下棧)



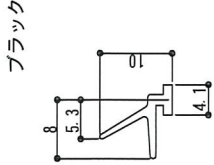
上下棧 (固定堅紐)



中棧



固定網戸ゴム



M4x13ナベドリルネジ

シルバー



東海アルミ工業 (株)



受領 検図 製図

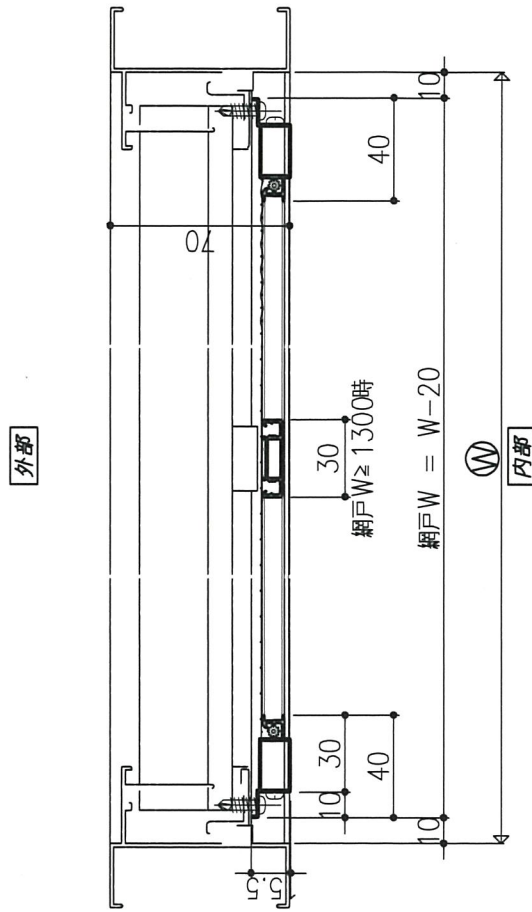
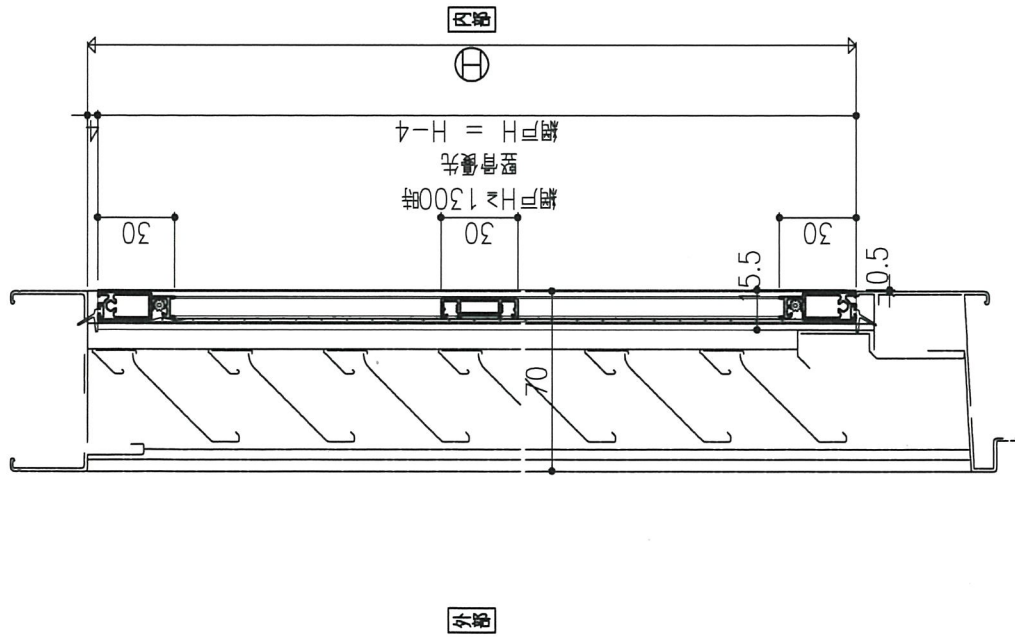
日付 2008/10/10 工事名

縮尺 1/1 図面名 ビス固定網戸 (上下棧ビス固定仕様) 姿図

図番

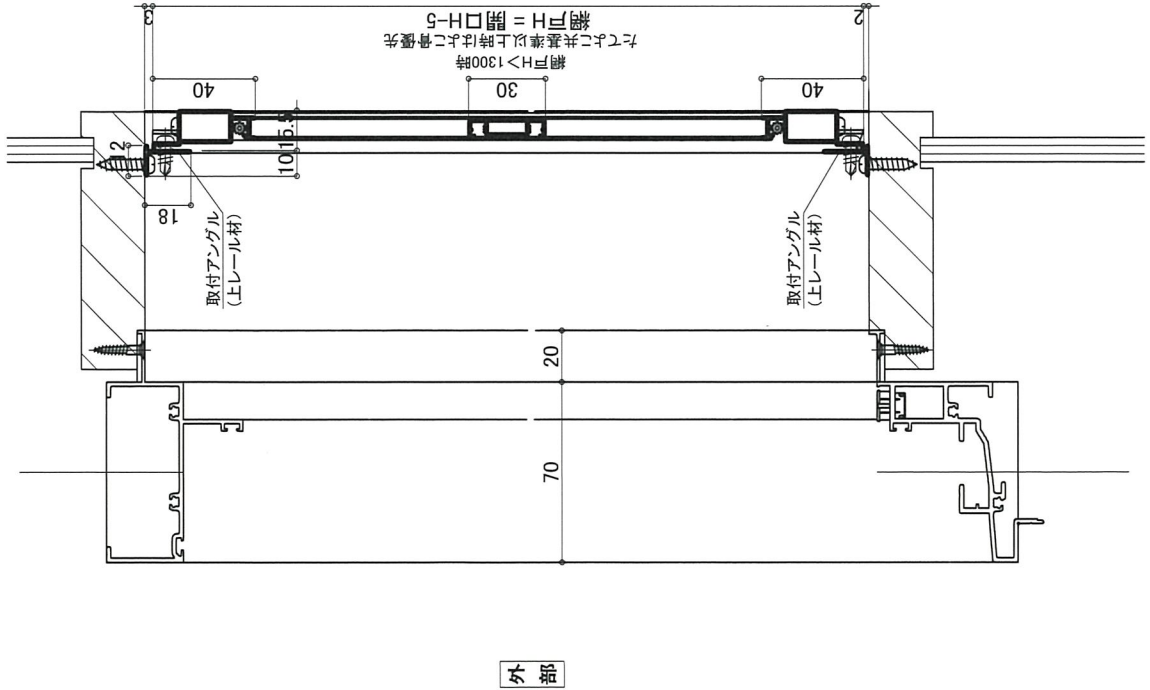
K1型網戸

(参考)MTG-70 固定ガラリ向け 内部固定網戸 参考納まり

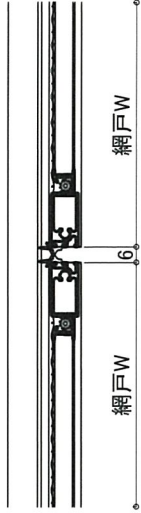


K2型網戸

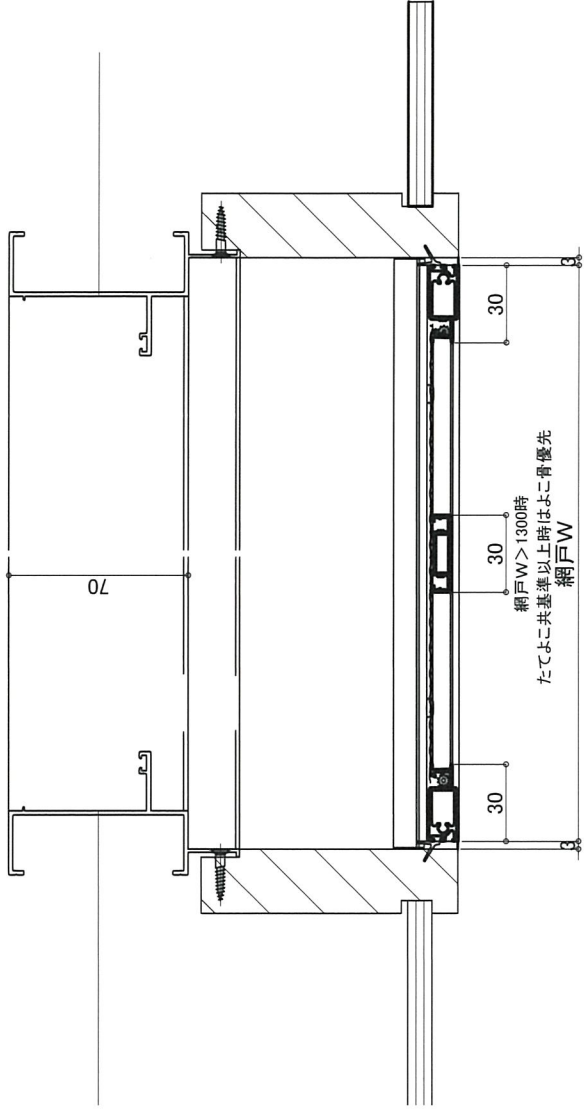
(参考) 排煙窓露出式オペレーター仕様サッシ 内部固定網戸



外部



外部



内部

内部

可動網戸の取付け方法

⚠ 注意

- 網戸が外れてケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・ 網戸外れ止めの調整は必ず行ってください。
- ・ 網戸外れ止めのレバーは2目盛以上戻さないでください。

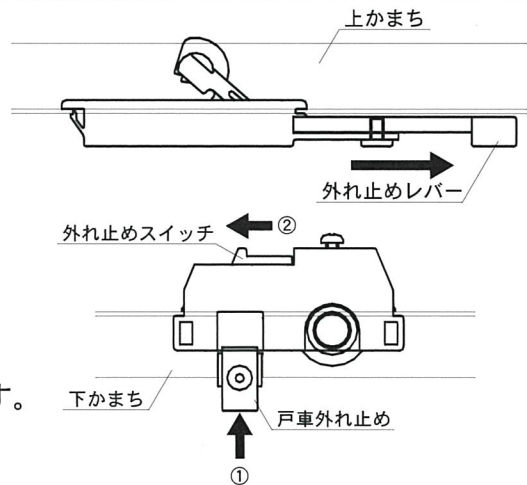
- 戸車や外れ止め、コーナー等は樹脂部品が使われている為、破損するおそれがあります。取り扱いには十分注意してください。
- 網戸には毛足の長いモヘアが使用されております。長い時間モヘアに何かが当たっている様な状況を作ると、そのままのクセが付いてしまいますので、そのような状況を作らない様にしてください。
- 片引き窓・両袖片引き窓等の片引き系の窓用の網戸には左右勝手があります。ラベルに記載されているR・Lの表記は室内側から見た表記です。正しく設置してください。

■ 取り付け順序

【網戸全タイプ共通】

1 網戸の建て込み

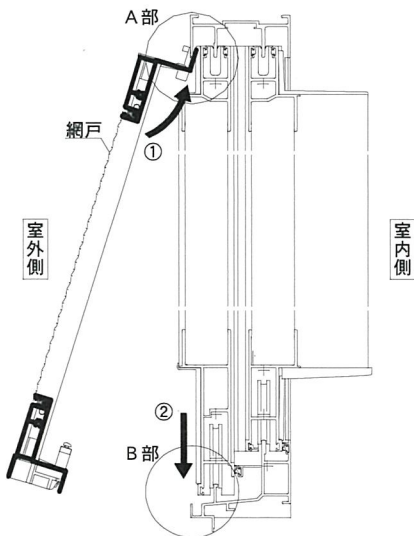
① 網戸外れ止めレバーを止まるまで引き出します。



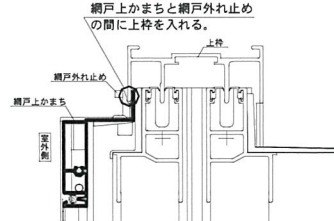
② 戸車外れ止めが下がっている状態の場合は、外れ止めスイッチが右側にあることを確認した上で、戸車外れ止めを下かまち内に押し上げた状態で、外れ止めスイッチを左側に固定させます。

※：戸車には外れ止め機能の無い仕様もあります。

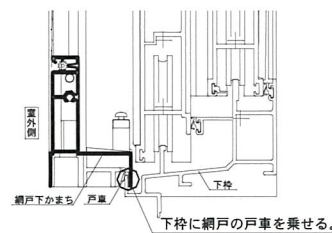
③ 室外側から建て込みます。



A 部詳細



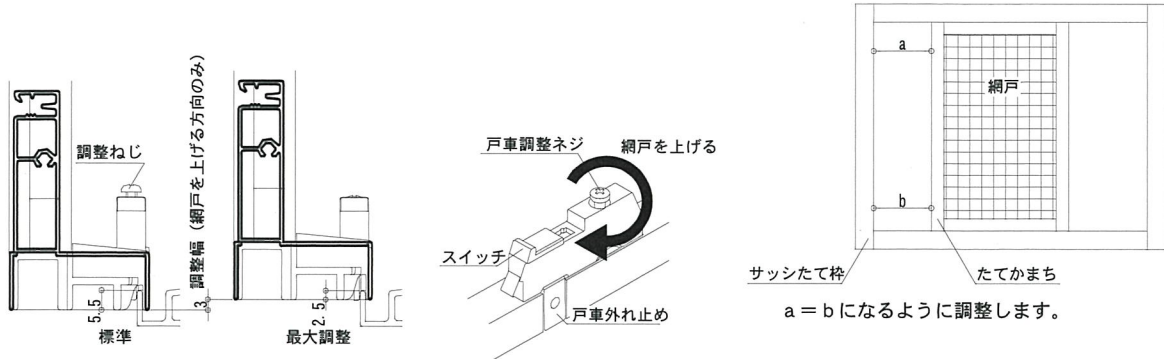
B 部詳細



2 網戸戸車の調整

- 戸車調整ねじを回してサッシのたて枠と網戸のたてかまちが平行になるように調整を行ってください。

※：戸車には外れ止め機能の無い仕様もあります。



3 網戸外れ止め調整

⚠ 注意

- 網戸外れ止めの調整は必ず行ってください。
- 網戸外れ止めのレバーは2目盛り以上戻さないでください。

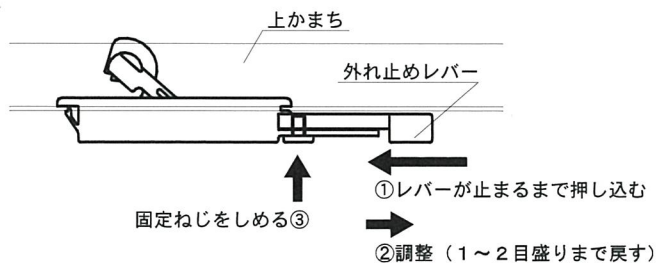
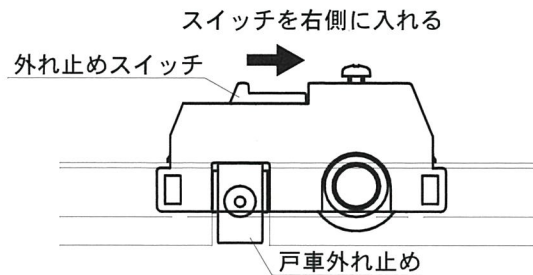
●戸車外れ止め

- ①外れ止めスイッチを右側一杯にスライドさせてください。
- ②網戸を持ち上げて、戸車外れ止めプレートが下がるのを確認してください。

※：戸車には外れ止め機能の無い仕様もあります。

●上部外れ止め

- ①網戸外れ止めレバーを止まるまで押し込みます。
- ②網戸の開閉が重い場合には、レバーを1目盛り又は2目盛り戻してください。
- ③外れ止め固定ねじを締めてください。
- ④網戸を持ち上げて網戸が外れないことを確認してください。



■網戸取り付け後の取り扱い

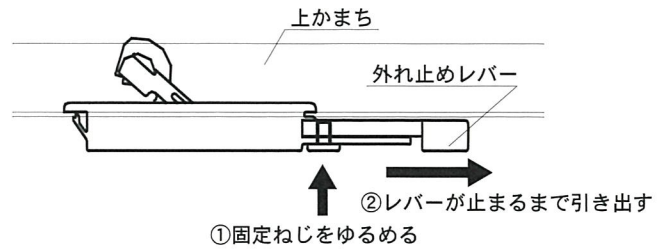
- 引き違い窓用の網戸は、内観から見て右側にセットしておいて下さい。モヘアのクセ付き防止に有効です。
- 片引き窓用の網戸は、開く障子側に網戸をセットしておいて下さい。枠側に接するモヘアクセ付き防止に有効です。
- 網戸の防虫機能は、窓の内側の障子を開けた時に効果的に機能します。窓の外側の障子を動かした場合、障子の位置によっては防虫機能を発揮できません。外側の障子を動かした際、網戸も一緒に動く場合があります。

可動網戸の取り外し方法

■ 取り外し順序

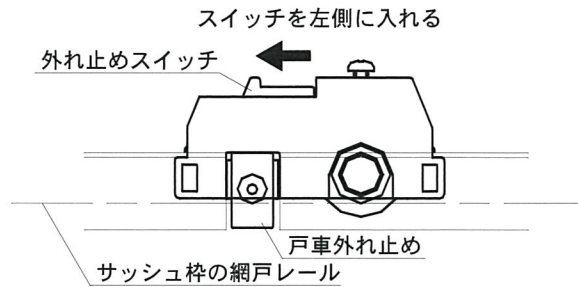
1 網戸の取り外し

① 網戸外れ止めレバーを止まるまで引き出します。

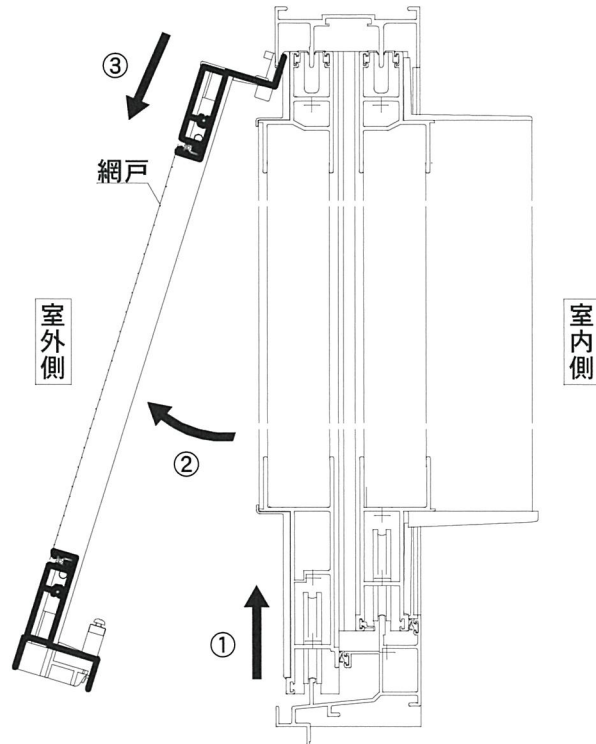


② 戸車がサッシュ枠の網戸レールに乗っている状態で、戸車の外れ止めスイッチを左側一杯に入れ、戸車外れ止めが飛び出して来ないように固定します。

※：戸車には外れ止め機能の無い仕様もあります。



③ 室外側から右の図のように
①②③の順にケンドンさせ、
網戸を取り外します。



※手順に従って網戸の取り外しを行わなかった場合、網戸又は網戸の部品が破損する原因となります。
順序通りの正しい取り外し方をして下さい。

■ 網戸取り外し後の取り扱い

- 戸車や外れ止め、コーナー等は樹脂部品が使われている為、破損するおそれがあります。取り扱いには十分注意してください。
- 網戸には毛足の長いモヘアが使用されております。長い時間モヘアに何か当たっている様な状況を作ると、そのままのクセが付いてしまいますので、そのような状況を作らない様にしてください。

